



Fiery XF 9.0 Quick Start Guide

© 2026 Fiery, LLC. 本書に記載されている情報は、本製品の『法律上の注意』の対象となります。

2026 年 1 月 6 日



目次

はじめに	5
Fiery XF 7.x または 8.x からのアップグレード	6
Fiery XF 6.5 からのアップグレード	7
Fiery XF 6.5 システムをバックアップ	7
Fiery XF 6.5 をアンインストールする	7
Fiery XF 9.0 のインストール	9
Fiery XF 9.0 サーバーのインストール	9
Fiery XF の最新アップデートを確認	10
Fiery アカウント	11
Fiery Software Manager で Fiery アカウントを作成する	11
Fiery Software Manager からの Command WorkStation のインストール	11
ダウンロードした Command WorkStation のインストール	11
最初の Fiery XF server にログインする	12
Fiery XF6.5 のシステムバックアップを復元する	12
最初のプリンターを追加する	13
プリンター固有の ID を設定する	16
Command WorkStation を設定する	17
メディアプロファイルのダウンロードとインストール	17
用紙を設定する	18
ワークフローの設定	19
ジョブをインポートおよび印刷する	20
学習資料	21

はじめに

本書では、旧バージョンのプログラムから **Fiery XF 9.0** にアップグレードする方法について説明します。また、本書では、**Fiery XF 9.0** ソフトウェアパッケージをインストールしてアクティベートする方法、**Fiery XF** サーバーに接続する方法のほか、最低限の設定でソフトウェアを設定して印刷を開始する方法についても説明します。

アップグレード手順は、現在実行している **Fiery XF** のバージョンによって異なります。

- **Fiery XF** バージョン 7.x または 8.x からアップグレードするには、[Fiery XF 7.x または 8.x からのアップグレード](#) (6 ページ) を参照してください。
- **Fiery XF** バージョン 6.5 からアップグレードする場合は、[Fiery XF 6.5 からのアップグレード](#) (7 ページ) を参照してください。

本書は、新しいソフトウェアを可能な限り迅速に理解できるように作成されています。**Fiery Command WorkStation** で使用可能なツールと機能の詳細については、**Fiery Command WorkStation** の[ヘルプメニュー](#)または [Fiery のヘルプ Web サイト](#)から、『**Fiery Command WorkStation Help**』を参照してください。

Fiery XF 7.x または 8.x からのアップグレード

有効なシステムメンテナンスおよびソフトウェア契約（SMSA）または Enhanced Service Program（ESP）契約がある場合、アップデートが使用可能になると、Job Center ウィンドウの右上に青い通知が表示されます。

Fiery Server Control のオンラインアップデーターを使用して、Fiery XF 9.0 に直接アップグレードできます。詳しくは、『Fiery Command WorkStation Help』を参照してください。

Fiery XF 9.0 は [Fiery Web サイト](#) の [サポートおよびダウンロード](#) セクションからダウンロードすることもできます。クリーンインストールの実行方法の詳細は、[Fiery XF 9.0 のインストール](#)（9 ページ）を参照してください。有効な SMSA または拡張サービスプログラムがない場合は、Fiery XF 9.0 ライセンスが必要です。

Fiery XF 6.5 からのアップグレード

現在、Windows コンピューターで Fiery XF サーバーを実行している場合、バージョン 9.0 にアップグレードできます。

アップグレードを準備するには、次の手順を実行する必要があります。

- Fiery XF 6.5 システムをバックアップ
- Fiery XF 6.5 をアンインストールする
- Fiery XF 9.0 のインストール

ビデオは[ここから](#)ご覧ください。

Fiery XF 6.5 システムをバックアップ

現在の Fiery XF 6.5 サーバーシステムをバックアップし、Fiery XF 9.0 で復元することができます。バックアップの復元は、新しいソフトウェアを最も簡単に設定する方法です。

システムをバックアップすると、次の設定が保存されます。

- Fiery XF サーバー構成
- すべてのユーザー設定
- すべてのワークフロー設定（プリセット、EPL リニアリゼーションファイル、スポットカラーテーブルおよびプロファイルなど）
- プリンター設定（プリンターの IP アドレスを除く）

1 System Manager で、**ファイル > バックアップ**をクリックします。

2 バックアップする項目のチェックボックスを選択します。

3 デスクトップがバックアップ場所として指定されていることを確認します。

デスクトップを選択して、Fiery XF の現在のバージョンをアンインストールする際に、バックアップファイルが削除されないようにします。

4 **保存**をクリックします。

以上で、Fiery XF 6.5 をアンインストールできるようになりました。

Fiery XF 6.5 をアンインストールする

同じコンピューター上で、Fiery XF の 2 つのバージョンを同時に実行することはできません。新しいソフトウェアをインストールする前に、Fiery XF 6.5 をアンインストールする必要があります。

Fiery XF 6.5 をアンインストールする前に、システムのバックアップを作成しておきます。

- 1 **コントロールパネル > プログラム > プログラムと機能**に移動します。
- 2 インストール済みプログラムのリストで **Fiery XF** を右クリックし、**アンインストール**をクリックします。
- 3 **はい**をクリックして、選択したアプリケーションとそのすべての機能を完全に削除することを確認します。
- 4 コンピューターを再起動してアンインストール手順を完了します。

以上で、Fiery XF 9.0 をインストールできるようになりました。

Fiery XF 9.0 のインストール

Fiery XF 9.0 パッケージはダウンロードして使用してください。

ソフトウェアをダウンロードするには、[Fiery Web サイト](#)の[サポートおよびダウンロードセクション](#)を参照してください。

Fiery XF 9.0 は、次の 2 つの異なるソフトウェアで構成されています。

- Fiery XF サーバーコンポーネント

メモ：Windows コンピューターに Fiery XF サーバーコンポーネントがインストールしてあり、コンピューターからインターネットにアクセスできる必要があります。

- Fiery Command WorkStation クライアントコンポーネント (Windows および Mac OS 対応コンピューター用)

メモ：Fiery Command WorkStation クライアントコンポーネントには、Fiery XF を使用してプロファイルを作成する際に必須の Fiery Color Profiling Suite が含まれています。[Fiery Web サイト](#)からソフトウェアをダウンロードする場合は、Fiery Command WorkStation および Fiery Color Profiling Suite をダウンロードしてください。

両方のコンポーネントを 1 台のコンピューターにインストールすることも、Fiery XF サーバーを 1 台のコンピューターにインストールして、Command WorkStation を別のコンピューターにインストールすることもできます。

次の手順が必要です。

- Fiery XF サーバーのインストール
- Fiery XF 9.0 ライセンスをアクティベートするか、Fiery XF 6.5 からライセンスを移行

メモ：

Fiery XF 9.0 はソフトウェアで保護されており、dongle は不要です。dongle で保護された Fiery XF のライセンスを移行して、バージョン 9.0 で使用することができます。

- Command WorkStation をインストール

メモ：Fiery Software Manager を使用して Command WorkStation をダウンロードする場合は、Fiery アカウントを作成する必要があります。

- プリンターとワークフローを設定するか、Fiery XF のバックアップを復元 (可能な場合)

Fiery XF システムソフトウェアのダウンロードの詳細については、[こちらのビデオ](#)をご覧ください。Fiery XF のインストールとライセンスの詳細については、[こちらのビデオ](#)を参照してください。

Fiery XF 9.0 サーバーのインストール

Fiery XF 9.0 サーバーをダウンロードからインストールできます。

作業を開始する前に、

- ライセンスアクティベーションコード (LAC) を確認します。LAC は E メールで送信されています。LAC は、ソフトウェアをアクティベートするのに必要です。

メモ： Fiery XF 6.5 からアップグレードする場合、LAC は必要ありません。LAC は、移行処理中にユーザーインターフェイスから提供されます。

- すべてのウィルススキャナーを無効にします。

1 Windows コンピューターで、ダウンロードからインストールします。サーバーコンポーネントの.iso ファイルをダブルクリックします。

2 「setup.exe を実行」をクリックします。

3 **ライセンスアクティベーション** ウィンドウがブラウザに表示されるまで、画面の指示に従います。

4 次のいずれかの操作を行います。

- 新しいユーザーの場合は、LAC をアクティベートします。**アクティベート**をクリックし、画面に表示される指示に従います。
- 既存のユーザーが Fiery XF 6.5 からバージョン 9.0 に移行する場合は、**移行**をクリックします。次に USB ドングルにプラグインし、画面の指示に従います。

メモ：

移行は、有効な SMSA または ESP 契約がある場合にのみ可能です。SMSA または ESP 契約の期限が切れている場合、Fiery XF 9.0 にアップグレードする前に、契約を更新するよう求めるメッセージが表示されます。

ビデオは[ここから](#)ご覧ください。

5 **完了**をクリックしてブラウザを閉じます。

6 **はい、今すぐコンピューターを再起動します**を選択してから **完了**をクリックします。

Fiery Server Control アイコンがタスクバーに表示されます。**Fiery Server Control** を右クリックすると、ショートカットメニューでは、Fiery XF サーバーを起動して、用紙プロファイルをダウンロードするための項目が表示されます。

以上で、Command WorkStation をインストールできるようになりました。

Fiery XF の最新アップデートを確認

プリンターおよびカッターの最新モデルをサポートするには、アップデートが必要な場合があります。アップデートは、Fiery Server Control を使用してインストールできます。

1 Fiery Server Control で、**Fiery Online Updater** をクリックします。

新しいバージョンが利用可能な場合、Fiery Online Updater に新機能と新しくサポートされるプリンターおよびカッターの概要が表示されます。

- 2 インストールするバージョンを選択してください。
- 3 **次へ**をクリックします。

Fiery アカウント

Fiery アカウントを使用すると、Command WorkStation の最新バージョンをダウンロードできます。

Fiery Software Manager で Fiery アカウントを作成する

Fiery Software Manager を使用して Command WorkStation やその他の Fiery アプリケーションをダウンロードするには、Fiery アカウントを作成する必要があります。

新しい Fiery アカウントを作成するには、有効な E メールアドレスが必要です。

- 1 Fiery Software Manager で、Fiery Command WorkStation パッケージの横にある**アップグレード**をクリックします。
- 2 **アカウントを作成**をクリックします。
- 3 画面の指示に従って Fiery アカウントを作成し、メールを確認します。

Fiery Software Manager からの Command WorkStation のインストール

Windows または Mac コンピューターに Command WorkStation をインストールできます。

- 1 Fiery Software Manager で、Fiery Command WorkStation パッケージの横にある**アップグレード**をクリックします。
- 2 Fiery アカウントのユーザー名とパスワードを入力して**サインイン**します。
- 3 画面の指示に従って、Fiery Command WorkStation パッケージをインストールします。

Windows の場合、インストールを完了するにはコンピューターを再起動する必要があります。

Fiery Command WorkStation アイコンがタスクバーに表示され、Command WorkStation が開始します。

これで、最初の Fiery XF サーバーに接続できます。

ダウンロードした Command WorkStation のインストール

Windows または Mac コンピューターに Command WorkStation をインストールできます。

- 1 次のいずれかを行います。
 - ダウンロードからインストール (Windows) : Command WorkStation の .exe ファイルをダブルクリックします。
 - ダウンロードからインストール (Mac) : Command WorkStation の .dmg ファイルをダブルクリックし、Mac_User_SW フォルダを開き、Fiery アプリケーション.dmg ファイルをダブルクリックします。

2 次のいずれかを行います。

- Windows : MasterInstaller.exe をクリックして実行します。
- Mac : Fiery Master Installer をダブルクリックします。

3 画面の指示に従って、Fiery Command WorkStation パッケージをインストールします。

Windows の場合、インストールを完了するにはコンピューターを再起動する必要があります。

Fiery Command WorkStation アイコンがタスクバーに表示され、Command WorkStation が開始します。

これで最初の Fiery XF server に接続できます。

最初の Fiery XF server にログオンする

ネットワークにインストールされているどの Fiery XF server サーバーにもログオンすることができます。

Fiery XF server への接続をセットアップすると、コンピューターを再起動するたびに、Command WorkStation が自動的にそのサーバーにログオンします。

作業を開始する前に、接続先の Fiery XF server が実行していることを確認します。サーバーコンピューターのタスクバーにある Fiery Server Control アイコンは、サーバーが実行中の際は緑色の背景に白い矢印を表示します。

通常、ソフトウェアはインストール完了後に自動的に起動します。Command WorkStation がまだ起動していない場合は、Fiery Server Control をクリックし、ウィンドウの右上にある白い矢印が付いた緑色のアイコンをクリックします。

1 「ようこそ」画面で**追加 (+)** ボタンをクリックします。

2 リストから Fiery XF server を選択するか、サーバー名または IP アドレスを入力します。続いて、**追加**をクリックします。

別の方法としては、**高度な検索**をクリックして、特定の IP アドレスまたは特定のサブネットの範囲内の Fiery XF サーバーを検索するか、キーワードを検索します。不必要なネットワークトラフィックを回避するために、IP アドレスの検索範囲を制限してください。

3 **管理者**ユーザーを選択し、パスワードに **Fiery.1** と入力します。次に、**ログイン**をクリックします。

これらはデフォルトのシステム管理者のログイン情報です。

ビデオは[こちら](#)をご覧ください。

以上で Fiery XF 6.5 のバックアップを復元したり、最初のプリンターを追加することができます。

Fiery XF6.5 のシステムバックアップを復元する

Command WorkStation では、Fiery XF 6.5 のプリンター設定を復元できます。

印刷構成セットは、新しいソフトウェアではメディアとして復元されます。印刷構成セットがない場合、EPL ベースリニアリゼーションファイルの名前を使用してメディアが作成されます。

1 Server Manager で：**サーバー**をクリックし、**バックアップ/復元**をクリックしてから、**復元**をクリックします。

2 一覧からバックアップファイルを選択します。

デフォルトでは、デスクトップに保存されているバックアップファイルが一覧に表示されます。バックアップファイルが他の場所に保存されている場合は、**選択**をクリックしてその場所を参照します。

3 **復元**をクリックします。

4 Fiery server を再起動します。

Fiery XF と Command WorkStation のデフォルトのログイン情報は違うということに注意してください。

- Fiery XF
ユーザー : Admin
パスワード : Admin
- Command WorkStation
ユーザー : admin
パスワード : Fiery.1

Fiery XF 6.5 のログイン情報がバックアップから復元されます。Fiery XF のバックアップを復元すると、Fiery XF のユーザー名とパスワードを使用して Command WorkStation にログオンできるようになります。

最初のプリンターを追加する

ジョブをインポートするには、プリンターを追加する必要があります。ライセンスによって、ソフトウェアで選択できるプリンターが異なります。

1 **プリンターの追加**をクリックします。

新規プリンターダイアログボックスが開きます。

2 プリンターの製造元を選択します。

3 プリンタータイプを選択します。

検索フィールドに入力すると、デバイスのリストをフィルタリングできます。

利用可能な場合は、名前に **FAST DRIVE** が付くプリンタータイプを常に選択することをお勧めします。詳細は、**FAST DRIVE** (14 ページ) を参照してください。

4 プリンターの名前を入力します (オプション)。

これは、ソフトウェアで表示される名前です。デフォルトでは、Command WorkStation はプリンターのタイプを表示します。デフォルトの名前は上書きすることができます。

5 説明を追加します (オプション)。

たとえば、プリンターの場所やプリンターにセットされている用紙の種類を入力します。

6 **次へ**をクリックします。

7 プリンターの接続を設定します。次のいずれかの操作を行います。

プリンターの電源が入っている必要があります。電源が入っていないとプリンターを検出できません。

- **ネットワークプリンターを設定する** (14 ページ)
- **USB 経由で接続されているプリンターを設定する** (14 ページ)

- [ファイルへの印刷出力を設定する](#) (15 ページ)
- [ネットワークプリンターの設定とプリンターへのファイルのアップロード](#) (16 ページ)

8 完了をクリックします。

Server Manager ウィンドウが開きます。

ビデオは[ここから](#)ご覧ください。

これで、ソフトウェアを設定できるようになります。

FAST DRIVE

一部のプリンターモデルは FAST DRIVE をサポートしています。FAST DRIVE は、CPU（中央処理装置）の代わりに GPU（グラフィック処理装置）を使用してジョブの処理速度を上げます。FAST DRIVE は、Fiery proServer Premium の一部の最新バージョンで使用できますが、特別なライセンスが必要です。

Command WorkStation は、FAST DRIVE プリンタードライバーと FAST DRIVE 以外のプリンタードライバーの両方を提供します。利用可能な場合は、名前に FAST DRIVE が付くプリンタータイプを常に変更することをお勧めします。以前のバージョンの Command WorkStation で作成されたキャリブレーションファイルとの互換性とカラーの一貫性を確保するために、以前のプリンタードライバーを使用できます。

FAST DRIVE は、Fiery XF 6.5 以降で作成されたベースリニアリゼーションファイルでのみサポートされています。Fiery XF 6.4 以前で作成されたキャリブレーションファイルは、FAST DRIVE プリンタードライバーでは使用できません。

Job Editor の場合、**ファイルタブのソースファイル情報**パネルには、ジョブが FAST DRIVE プリンタードライバーを使用して加速処理されたかどうかが表示されます。

ネットワークプリンターを設定する

IP アドレスを使用してプリンターに接続できます。

- 1 **接続タイプ**で、**ネットワーク経由で印刷**を選択し、プリンターの IP アドレスを入力します。
- 2 プリンターでデータ転送に使用する TCP/IP プロトコルのタイプを選択します。

ほとんどのプリンターは、RAW プロトコルをサポートしており、ポート 9100 に出力します。LPR プロトコルは、通常、Unix システムが複数のインターフェイスを持つプリントサーバー用に予約されています。このフィールドは空白でも構いません。分からない点がある場合は、使用しているプリンターのマニュアルを参照するか、システム管理者にお問い合わせください。

メモ：EFI VUTEk プリンターは、ポート 8013 経由で通信します。

USB 経由で接続されているプリンターを設定する

USB 経由でサーバーコンピューターに接続されているローカルプリンターで印刷できます。

- 1 **接続タイプ**で、**ポート経由で印刷**を選択します。
- 2 **ポート**で、ポートを選択します。

ファイルへの印刷出力を設定する

命名形式を定義することができます。また、EFI ワイドフォーマットプリンターの印刷ファイルを保存するエクスポートフォルダーを選択できます。

EFI VUTEk プリンターの印刷ファイルは、指定した**エクスポート**フォルダーに RTL および TIFF 形式で保存されます。Bitmap、GIF または PNG ファイルは、VUTEk ユーザーインターフェイス上でジョブのプレビューを表示するために使用されます。Bitmap、GIF または PNG ファイルは、任意の通常のグラフィックプログラムで開くことができます。

メモ：GIF ファイルはデフォルトで作成されます。必要に応じて、Server Manager のプリンターの**特殊設定**パネルで設定をオフにすることができます。

EFI Matan、EFI スーパーワイドロールツーロール、Reggiani プリンターの印刷ファイルは、指定した**エクスポート**フォルダーに別々の TIFF ファイルとして保存されます。ネットワーク内にある**エクスポート**フォルダーを選択した場合は、そのフォルダーへのアクセス権を入力する必要があります。

1 接続タイプで、ファイル出力を選択します。

2 エクスポートパスを定義します（オプション）。

デフォルトのエクスポートパスを使用するか、**選択**をクリックして別のフォルダーを参照します。

3 印刷ファイルの命名形式を選択します。

デフォルトの命名形式は、ジョブの順序_ジョブ名_ジョブID_タイル番号_ページ番号_日付です。カスタムの命名形式を定義ことができ、命名形式には、カスタムのテキストと次の変数を加えることができます。

変数	説明
%count	カウンター
%jobid	ジョブ ID
%t	タイル番号
%p	ページ番号
%out	プリンター
%cm	カラーモード
%job	ジョブ名/ネスト名
%res	解像度
%work	ワークフロー
%date	日時
%order	ジョブの順序

メモ：2 つの変数の間に下線やハイフンなどの区切り文字を追加すると、ファイル名が読みやすくなります。

ネットワークプリンターの設定とプリンターへのファイルのアップロード

IP アドレスから EFI VUTEk XT または EFI VUTEk MCORR プリンターに接続し、プリンター上のフォルダーに印刷データをアップロードできます。

- 1 **接続タイプ**では、**IP ネットワーク経由で印刷**を選択し、ネットワーク印刷をサポートするプリンターの IP アドレスを入力します。
- 2 **JDF エクスポートパス**フィールドで、VUTEk プリンターの共有フォルダー /vutek/Integration を指定します。
- 3 VUTEk プリンターの共有フォルダーにアクセスするには、ユーザー名とパスワードのログイン情報を入力します。

メモ: ユーザーネームフィールドを **xfjdfintegration**、パスワードフィールドを **Fiery.1** として設定します。

プリンター固有の ID を設定する

プリンター固有の識別子を変更できます。

プリンター情報タブで **Server Manager** にプリンターを作成すると、プリンターごとに固有の ID（それぞれの Fiery XF サーバーに固有）が表示されます。この ID は Fiery XF で Fiery IQ を設定するための識別子を表します。

接続の際は、作成した識別子を使用するか、シリアル番号のようにデバイス固有の識別子を入力します。

Command WorkStation を設定する

Command WorkStation を設定するには、プリンター用のメディアプロファイルをインストールし、メディアおよびワークフローを設定する必要があります。

各プリンターは、最初は 1 つの汎用のメディアと 1 つの汎用のワークフローで設定されています。

- メディアでは、インクタイプ、用紙（タイプ、ソース、サイズ）を定義します。オートカットモードやホワイトインク印刷などの特殊なプリンター設定は、2 番目のタブで使用できます。メディアはメディアプロファイルにリンクされます。そのため、各用紙に適したプリンター固有の設定を定義することができます。用紙の種類ごとに 1 つのメディアを作成することをお勧めします。ジョブをインポートするときに、適切なメディアを選択できます。
- ワークフローでは、基本的なカラー管理とジョブ設定を定義します。ジョブの種類ごとにカスタムワークフローを作成し、ジョブをインポートするときに適切なワークフローを選択することにより、作業プロセスを自動化できます。

カスタムのメディアおよびワークフローを作成しない場合は、汎用の設定を適用することができます。ただし、その場合、印刷前にジョブごとにカスタム設定を行う必要があります。独自のジョブ要件に合わせてカスタムのメディアおよびワークフローを作成することで、多くの時間を節約でき、ジョブごとに個別に設定を行う必要がなくなります。

メモ：

Fiery XF 6.5 のシステムバックアップがある場合は、Command WorkStation を設定する必要はありません。バックアップを復元すると、システム設定が新しいソフトウェアに転送されます。詳細は、[Fiery XF6.5 のシステムバックアップを復元する](#)（12 ページ）を参照してください。

メディアプロファイルのダウンロードとインストール

お使いのプリンターに、更新された最新のメディアプロファイルをダウンロードできます。メディアプロファイルは、多くの異なるプリンターモデル、メディアの種類、解像度で使用できます。

Fiery は、製品発売後も、機能の向上やプリンターサポートを改善するために、製品開発を続けています。定期的に更新手順を行い、お使いのメディアプロファイルを常に最新の状態にしておくことをお勧めします。

- 1 タスクバーで **Fiery Server Control** を右クリックし、**Fiery プロファイルアップデーター**をクリックします。
プロファイルアップデートサービスウィンドウが開きます。
- 2 **次へ**をクリックします。
- 3 **メーカー/機種**列で、プリンターのメーカーをクリックします。
- 4 **メディアプロファイル**で、インストールするメディアプロファイルを選択します。
1 回のダウンロードで異なるプリンターメーカーの印刷メディアプロファイルを選択することができます。

5 リストのダウンロードをクリックします（オプション）。

選択したメディアプロファイルのリストを表示できます。リストからメディアプロファイルを追加または削除するには、**プロファイルの追加**をクリックします。

6 ダウンロードをクリックします。

7 完了をクリックします。

メディアプロファイルがダウンロードされ、コンピューターにインストールされます。Command WorkStation はメディアプロファイルを検出するのに約 30 秒かかります。

用紙を設定する

Command WorkStation の用紙は、印刷する用紙の物理的特性を表します。用紙の種類ごとに 1 つのカスタムメディアを作成することをお勧めします。

適切なメディアプロファイルをインストールしておきます。

- 1 Server Manager の場合：**サイドバーで**プリンター**をクリックし、プリンターを選択します。
- 2 プリンターのツリービューで、メディアの横にある追加 (+) ボタンをクリックします。**一意の名前を入力し、**保存**をクリックします。
- 3 新規カスタムメディアを選択します。メディアタブで、メディア設定パネルを展開します。**
生成されたキャリブレーションに、プリンターで使用可能なすべてのキャリブレーションファイルが一覧表示されます。一覧が空の場合は、Fiery Profile Updater を使用して適切なメディアプロファイルをダウンロードする必要があります。
- 4 インクタイプ、メディア名およびその他のメディア設定を選択します。**
ここでの目的は、設定に適したキャリブレーションファイルと ICC プロファイルの正しい組み合わせを見つけることです。**生成されたキャリブレーション**の Command WorkStation には、選択した用紙設定の組み合わせと互換性のあるキャリブレーションファイルおよび ICC プロファイルのみが表示されます。
- 5 生成されたキャリブレーションで、メディア設定に適したキャリブレーションファイルを選択します。**
- 6 メディアタブで、印刷メディア設定パネルを開きます。**
- 7 用紙ソースを選択します：**ロール用紙またはシート用紙。
- 8 メディアフォーマットを選択します。**

カスタムメディアフォーマットを定義することもできます。カスタムメディアフォーマットは、プリンターが対応している最大サイズより大きくすることはできません。必要な幅と高さを入力します。**追加 (+)** ボタンをクリックし、メディアフォーマットに一意の名前を付けて保存します。

カスタム用紙の形式は、次のタイプのジョブを処理する際に役立ちます。

- ネスティングプリンターが特大用紙またはロール用紙用に設定されている場合、ネスティングの管理が困難になる可能性があります。より標準的なシートサイズを定義すると、ネストするジョブのレイアウトがコントロールしやすくなります。
- ファイルへの印刷ジョブ-異なる用紙サイズをサポートする印刷ファイルを作成できます。

9 プリンターとワークフローの設定タブで、特殊設定パネルを展開します。

10 メディアに含めるプリンター固有の設定を行います。

11 保存をクリックします。

メディアの編集の詳細については、『オンラインヘルプ』を参照してください。

ワークフローの設定

Command WorkStation では、ワークフローを使用して、ジョブに対してデフォルト設定グループを割り当てます。最良の結果を得るために、カスタムワークフローを作成することをお勧めします。

ワークフローを使用すると、カラー管理設定や、ジョブの寸法、方向または用紙消費量にかかわるレイアウト設定を一貫して適用できます。また、ワークフローを使用して、Command WorkStation で全ジョブをマーク付きで印刷したり、ジョブラベルを印刷したりすることもできます。

1 Server Manager の場合：サイドバーで**プリンター**をクリックし、プリンターを選択します。プリンターのツリービューで、**ワークフロー**の横にある**追加 (+)** ボタンをクリックします。

ワークフローテンプレートウィンドウが開きます。

2 ワークフローの種類と、ニーズに最も合うテンプレートを選択し、**ロード**をクリックします。

3 **カラー**タブで、**カラー管理**パネルを展開します。

4 **プリセット**で、要件に最も合うカラー管理プリセットを選択します。

Command WorkStation では、プロダクション、写真、プルーフィング、ビジネスグラフィックおよびグレースケール出力のためのカラー管理プリセットが提供されています。各プリセットには、あらかじめ選択された、標準的なワークフローに適したソースプロファイル、シミュレーションプロファイル、レンダリングインテントが含まれているため、優れた色再現を実現することができます。

5 **ファイル**、**レイアウト**、**仕上げ**、**カラー**、**プリンター**および**検証**タブで、ワークフローに適用できるその他の設定を選択します（オプション）。

6 **保存**をクリックします。

7 Server Manager を閉じます。

ワークフローの編集の詳細は、『オンラインヘルプ』を参照してください。

ジョブをインポートおよび印刷する

Command WorkStation の Job Center ウィンドウにジョブをインポートできます。ジョブを個別にインポートすることも、複数のジョブを選択してネスティングとしてインポートすることもできます。

次の手順では、ジョブを Command WorkStation に直接インポートする方法について説明します。ホットフォルダーや仮想プリンターを使用する方法など、その他のジョブのインポート方法については、『オンラインヘルプ』を参照してください。

- 1 ツールバーの Job Center で**インポート**をクリックします。
- 2 ジョブを参照し、**開く**をクリックします。
ファイルのインポートダイアログボックスが開きます。
- 3 複数のジョブをインポートするには、**追加 (+)** ボタンをクリックします (オプション)。
 複数のジョブをインポートする場合は、ジョブを選択して上矢印や下矢印をクリックすると、ジョブの表示順序を並べ替えることができます。
- 4 プリンターを選択します。
- 5 指定したプリンターで使用可能な任意のワークフローまたは用紙を選択します。
 - **ワークフロー-汎用 (デフォルト)** ワークフローまたは別の選択したワークフローの設定を使用してジョブを処理します。
 - **用紙-汎用 (デフォルト)** 用紙または別の選択した用紙の設定を使用してジョブを処理します。
- 6 **全ジョブをネスティング**を選択します (オプション)。
 この設定により、リスト内のすべてのジョブがネスティングとしてインポートされます。もしくは、個別にインポートしたジョブから Job Center にネスティングを後で作成することもできます。
- 7 インポート方法を選択します。
 - **待機**-印刷前に待機中のジョブを編集できます。インポートされたジョブに「スプール済み」状況が付与されます。
 待機ジョブはジョブリストにインポートされますが、印刷は開始されません。待機ジョブは編集することができます。準備ができたら、印刷処理を手動で開始できます。ジョブの設定は、ワークフローの設定よりも優先されます。ジョブの編集の詳細については、『オンラインヘルプ』を参照してください。
 ジョブを編集するには、ジョブを Job Center で選択します。**ジョブ概要**で、ペンアイコンをクリックし、必要な部数を入力します。ツールバーで**印刷**をクリックします。
 - **処理後待機**-インポート時にジョブを処理しますが、印刷はしません。インポートされたジョブに「処理済み」状況が付与されます。手動で印刷を開始できます。
 - **印刷**-ジョブを自動的にインポート、処理、印刷します。インポートされたジョブに「印刷済み」状況が付与されます。ジョブを編集する必要がある場合は、まずジョブの処理をキャンセルする必要があります。

学習資料

Fiery は、お客様がソフトウェアを最大限活用できるよう、様々なタイプの学習資料をビデオや文書の形式で提供しています。

- 動画

Fiery は、システムの操作に必要なすべての情報を入手できるよう作られた、広範囲の説明およびハウツービデオを提供しています。コースでは、基礎からはじめ、段階を経て専門的トピックへと進みます。このオンラインヘルプには、多数のビデオへの直接リンクが表示されています。さらに、利用可能なすべてのビデオの完全なリストは learning.fiery.com にあります。検索機能を使用すると、選択したトピックに関するビデオを見つけることができます。

- 書類

次の種類の書類を [Fiery Web サイト](#) からダウンロードできます。

- 取扱説明書（クイックスタートガイド、ユーザーマニュアル、特定のソフトウェア機能に関するハウツー記事）
- 技術文書（リリースノート、システム要件、機能表など）
- ナレッジベース（カラー管理、ソフトウェアオプション、ワークフローに関するハウツー記事）
- プリンタードライバの説明

- Command WorkStation ヘルプメニュー

ヘルプメニューでは、『Fiery Command WorkStation Help』や対応している Fiery XF サーバーの取扱説明書を閲覧できます。Fiery XF サーバーの取扱説明書を表示するには、<サーバー名>が Fiery XF サーバーである<サーバー名>の取扱説明書をクリックします。